

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- * 十分な生徒理解のもと、ピアサポートやユニバーサルデザインなどにより、個別的に支援する。
- * 生徒に寄り添い、支援体制の充実した雰囲気・組織づくり
- * 自尊感情・自己肯定感を高めることのできる授業づくり

【未然防止】

「思いやりの心の醸成」

- * 道徳授業の充実
- * エンカウンターによる相互理解
- * 学校・学年・学級でのピアサポート活動の充実
- * 教育活動全般における「言語活動指導」の充実
- * 生徒会を中心にした「いじめ撲滅活動」の充実
- 「いじめゼロにむけた5箇条」の制定

—昨年度の取り組みの評価—

- ・道徳24項目の実施に学級担任が努めた。
- ・縦割り活動の積極的な取り組みで、生徒のピアサポートの意識が向上した。

【早期発見】

「子どものサインに気づく目をもつ」

- * いじめアンケートや教育相談の実施
- * アンケート実施後の寄り添う指導
- * 教職員の情報交換の活発化
- * 欠席者への家庭訪問・電話連絡の実施
- * 授業観察や生活ノートの点検を通じた生徒理解。
- * スクールカウンセラー・学校支援相談員との連携
- 昨年度の取り組みの評価—
- ・学年間や担任と教科担当との連絡を密に行えたことや日々の生活ノートの丁寧な見取りやアンケートの実施が早期発見につながった。

【早期対応】

「チーム対応・素早く対応」

- * 迅速な聞き取り・情報収集
- * 迅速な家庭連絡・被害者の保護
- * 迅速な加害者指導及び継続的に見守っていく事後指導
- * 被害者の立場にたった対応・加害者の立場にたった対応
- * 迅速な全体指導・全体説明
- * 積極的に保護者に報告すると共に、保護者への対応は、複数教員で実施。
- 昨年度の取り組みの評価—
- ・学年職員で役割分担し、迅速な対応ができた。

【PTAや地域との連携】

「地域との信頼関係構築」

- * 家庭啓蒙活動の充実（子どもに目を向けさせる）
- * PTA 育成部活動、地区懇談会の実施
- * 青少年健全育成会の実施
- * 朝の挨拶運動の実施

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

「自分たちの手でいじめゼロを・・・いじめゼロにむけた5箇条の制定

- * 生徒集会・ピアサポート活動の充実
- * 「いじめ撲滅」の学級活動・生徒会活動の実施
- * 自己有用感をもてるような環境づくり

【いじめ対策委員会】

委員
 校長、教頭、教務主任、生徒指導主事
 学年主任 養護教諭、特別支援コーディネーター、
 スクールカウンセラー 学校支援相談員、
 学校評議員、地域の有識者

【職員研修・指導体制】

* 学校・学年体制で生徒指導・生徒理解研修の充実を図る。

【取組等の点検】

- * 被害者の立場にたった指導
- * 学校・学年体制で情報交換・情報共有を心がける。

【関係機関との連携】

- * ネットパトロールとの連携
- * サポートセンター、児童相談所との連携